「地球温暖化防止のための情報誌」

アイ ラブ I Love 地球！

2013年9月発行　NO.２０

≪編集・連絡先≫
広島市地球温暖化対策地域協議会
[事務局]広島市環境局温暖化対策課
広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
TEL　082－504－2185
FAX　082－504－2229
E－mail:ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp

「2013ひろしま温暖化ｽﾄｯﾌﾟ!ﾌｪｱ」開催報告

「2013ひろしま温暖化ストップ！フェア」を、８月２３日１１時から１８時の間、紙屋町シャレオ中央広場において開催しました。

この催しは平成１６年から開催しており、今年で１０年目を迎えました。この間、会場をいくつか変えてきましたが、今回は多くの来場者が見込める紙屋町シャレオ中央広場にしました。

ブース出展者と出展内容は右の表に示すとおりでした。この他に、一般財団法人省エネルギーセンターがパンフレット配布による参加でした。

オープニングイベントとして１０時４５分から広島市消防音楽隊によるプレ演奏、広島市地球温暖化対策地域協議会会長挨拶、同音楽隊によるミニコンサートを行って通行人の関心も誘い、本イベントに移りました。

本イベントでは各ブースを市民の方々に回っていただき、あわせて各ブースの一角にクイズラリーの問題を置き、一巡して回答したら景品を受け取って退場という流れにしました。

司会のキャロルさんには、定期的に各ブースを回ってヒアリングをしていただき、会場を盛り上げる工夫をしました。

出　展　者	内　　容
花王カスタマーマーケティング株式会社	水をテーマに生活者が家庭内でできるエコ行動の情報提供 簡単なクイズと節水視点の商品サンプルの提供
有限会社木下組	太陽光発電パネルの展示とメガソーラーの紹介 HEMSの紹介と説明
広島電鉄株式会社	電車の環境への取組 超低床電車シート前での記念撮影
公益社団法人広島消費者協会	活動のパネル展示 環境行動宣言による環境の木
脱温暖化センターひろしま	県センターの事業紹介 TEAM MATEの活動紹介 省エネ学習グッズの展示・実演
中国経済産業局	省エネ製品のパネルによる紹介 再生可能エネルギーのパネル紹介
環境省中国四国地方環境事務所広島事務所	エネルギー・温暖化（環境）クイズ パンフレットの配布 バイクビズの広報
ひろしま地球環境フォーラム・広島県	「ひろしま環境の日」行動宣言の取組 クール・シェアの取組
広島市地球温暖化対策地域協議会 広島市	活動のパネル展示 省エネ診断 クイズラリー・カーボンオフセット

イベントに来場いただいた方は約３，５００人という結果になりました。

クイズラリーの参加者は４１６人で、大人も子供も楽しんで回答しました。

クイズの問題を紹介します。

1. 「2013 ひろしま温暖化ストップ!フェア」のテーマは何ですか?
2. 自然から作る電気（エネルギー）は何と呼びますか?
3. 温室効果ガスの排出を埋め合わせする仕組みを何と呼びますか?
4. 家庭の無駄なエネルギーをチェックすることを何と呼びますか?

省エネ診断には３５名の受診者がありましたが、従来のイベント等での受診者とは異なる人たちの受診が多く見受けられました。

当催しの開催情報が RCC テレビ「イマなま 3 チャンネル」及び中国新聞で報道され、たまたま当日の中国新聞のトップ記事が地球温暖化問題であり、市民の関心を呼んだと思います。また、ひろしまケーブルテレビには丁寧な取材をしていただきました。

2013 年 7 月から 9 月の活動

〇役員会

9 月 18 日　26 年度事業計画検討

〇イベント WG:

・ピース・フィールド

7 月 27 日・28 日 省エネ診断とパネル展示

・温暖化ストップフェア

8 月 23 日　省エネ診断とパネル展示

クイズラリー

〇家庭・消費者 WG:

・ひろしま温暖化ドクター事業

7 月 23 日　留学生会館　　参加者　３名

・草の根省エネ診断事業

7 月 27 日・28 日　ピース・フィールド

（ハノーバー庭園・広島市ブース）

8 月 23 日　温暖化ストップフェア

（紙屋町シャレオ中央広場）

2013 年 10 月の活動予定

皆さんの積極的な参加をお願いします。

〇イベント WG：

10 月 13 日 10 時～15 時

会場　広島市環境局中工場

「環ッハッハ in よしじま」への参加

省エネ診断とパネル展示

活動詳細レポート

「ピース・フィールド」での省エネ診断

広島県/ピースアーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会の主催による「ピース・フィールド」(世界の人々と平和の交流イベント)が 7 月 27 日～8 月 3 日に開催されました。

協議会では、27 日と 28 日の 2 日間、ハノーバー庭園において、広島市のブースの中で省エネ診断とパネル展示を行いました。

ブースは、広島市水道局とスペースを分け合ったため多少狭く、パソコン 1 台によって省エネ診断を行うことになりました。

5 名の診断員が、順次交代をしながら診断を実施しました。

丁度、8 月 23 日の温暖化ストップフェアのチラシが出来上がったところでしたので、その案内もあわせて行いました。

初日は、天候にも恵まれて、22 名の受診者という結果になりました。水道局さんから広島の水のペットボトルをいただき、暑い中での診断もスムースに対応できました。

二日目は、一変して雨のイベント会場になり、ブースに立ち寄る人も少なくなりました。

3 名の方の受診にとどまり、二日間の合計では 25 名の受診になりましたが、広島市以外の市町の方にも体験していただき、よい PR ができたと思っております。

協議会の事業者会員紹介（９）

有限会社木下組

地球人口は、現在 72 億人で 2050 年には 96 億人に達すると予測されています。ご承知の通り世界経済は大量生産・大量廃棄で成立し、様々な社会的な問題を引き起こしています。

人口大国中国の人口は 13.5 億人で 1 人あたり1次エネルギー消費量は1.8t／人の水準にあります。日本人は 3.9t／人でその差を埋め追いつけ追い越せのエネルギーが世界経済を牽引しています。

しかし　負の側面から経済活動を評価すると、恐ろしい勢いで化石燃料が消費され CO2 の増加によりゲリラ豪雨や大型台風の発生につながる地球温暖化が進行しています。

私ども木下組は、地球温暖化対策として再生可能エネルギー普及しか無いと判断し、このたび北広島町へメガソーラー木下発電所を設計・施工で建設しました。（年間予想発電量 1,100,000kWh 発電期間平成 25 年 9 月 1 日～平成 45 年 8 月 31 日）

我々は社会基盤整備の建設工事・点検整備業務を手がけると共に、再生可能エネルギー太陽光発電を広く社会へ普及させることで地球環境貢献を目指しております。

【木下組ホームページ】
http://kinositagumi.com/

広島市からのお知らせ

「市有施設の『屋根貸し』による太陽光発電」について

広島市では、再生可能エネルギーの普及拡大、エネルギーの安定供給に向けた分散型電源の確保、市民・事業者への普及啓発を図るため、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用して市有施設の屋根や屋上で太陽光発電事業を実施する事業者の第１回目の募集を行うことにしました。

【第１回公募】

① 対象施設
吉島体育館（中区）、佐伯区役所別館（佐伯区）、大塚小学校（安佐南区）、伴南小学校（安佐南区）、大塚中学校（安佐南区）
※　今回の公募の状況を踏まえながら、他の施設についても順次発電事業者を募集する予定です。

② 発電事業者の選定
提出された事業提案書に基づき、設備仕様（発電量等）や施工方法、保守管理体制等を審査し、11 月中旬に発電事業者の選定を行います。

③ 主な公募条件等
- 太陽光発電事業の実績（10kW 以上）があり、かつ広島市内に本店又は支店等を有することなど
- 発電事業期間は最長 20 年（5 年毎に屋根等の目的外使用許可を更新）
- 使用料は年間 100 円/㎡以上で提案すること
- 設置、接続、維持管理、撤去などの費用は発電事業者が負担すること
- 市民・児童等への普及啓発のため、施設の入口付近等に発電量をリアルタイムで表示する装置を設置すること

【問】環境局温暖化対策課
（TEL504-2185　FAX504-2229）

リーダー推進員研修に参加して

9 月７日の午後から・８日の午前いっぱいにわたって、岡山市においてリーダー推進員研修がありました。各県から５～10 名の参加募集と言うことで、参加申し込みをして出席してまいりました。

中・四国の地域センターが企画して、環境省に予算請求を行い認められたものとのことで、今年度が第一回の開催とのことです。研修会のねらいは、中国四国各県で活躍する地球温暖化防止活動推進員が一堂に会し、交流を図りつつ一層の活性化に向けてレベルアップを図る、と言うものでした。

具体的な内容は、西直人氏(リードクライム株式会社/環境コミュニケーションプランナー)と仲上美和氏(フリーランス)を講師として、5～6 人の１０グループに分かれてＫＰ法の学習を行うものでした。私にとっては初めての経験でしたが、大変素晴らしいプレゼンテーションを行う人も複数おられて感心しました。

当協議会の活動にも状況に応じて取り入れていったらよいと感じました。(報告:篠原)

温暖化ストップ！フェアにおける「カーボンオフセット」の紹介

本イベントの開催に伴って発生したＣＯ２排出量については、「中国地域におけるＪ－クレジット制度推進のための中小企業等に対するソフト支援事業」を活用して、広島県内の企業から創出された国内クレジットを使用した「カーボンオフセット」を実施しました。ＣＯ２償却量は 6 トンで、「カーボンオフセット証明書」は広島市の展示ブースに掲示しました。(協力：中国経済産業局、中電技術コンサルタント株式会社)

次号(21 号)の掲載予告

12 月末発行予定

〇環ッハッハ in よしじま(10/13)報告
〇脱温暖化センターとの連携事業紹介

協議会活動参加へのお誘い

温暖化は私たち「みんなの問題」。私たちとともに温暖化防止活動に取り組みましょう。協議会では、あなたの参加を待っています。

編集後記

第２０号はいかがでしたか。載せてほしい情報やご意見などをお寄せください。お待ちしています。　E－mail:ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp